

大田市職員の給与・定員管理等について

1. 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

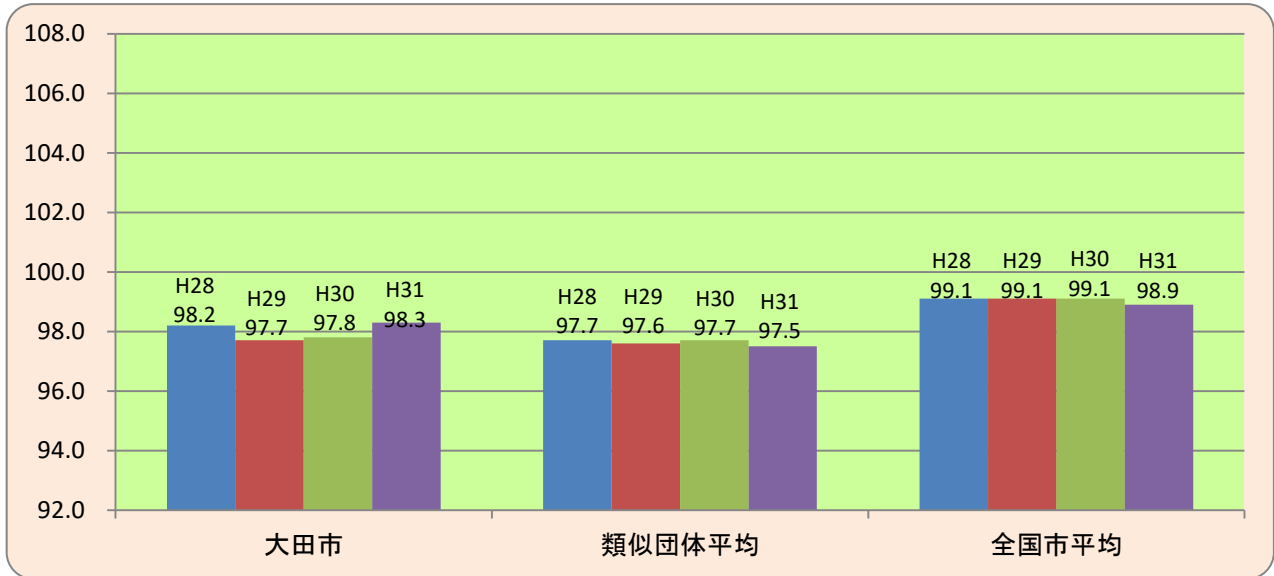
| 区分 | 住民基本台帳人口 (平成31.1.1) | 歳出額 A | 実質収支 | 人件費 B | 人件費率 B/A | (参考) 前年度 の人件費比率 |
|------|------------------------|------------|---------|-----------|-------------|--------------------|
| | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | % | % |
| 30年度 | 34,914 | 23,894,154 | 313,990 | 4,276,078 | 17.9 | 17.6 |

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

| 区分 | 職員数 A | 給与 | | | | 1人当たり給 与費B/A | 1人当たり給与費 (類似団体) |
|------|----------|-----------|---------|---------|-----------|-----------------|--------------------|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末勤勉手当 | 計 B | | |
| | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 30年度 | 434 | 1,654,488 | 418,459 | 675,221 | 2,748,168 | 6,332 | 5,872 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、平成30年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、再任用職員（短時間勤務）の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含まない。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

① 給料表の見直し

[実施 未実施]

国の見直し内容を踏まえ平均2%引下げ。（平成27年4月1日実施）

② その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、見直しを実施。（平成27年4月1日実施）

2. 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成31年4月1日現在）

① 一般行政職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|-------|--------|-----------|-----------|--------------------|
| 大 田 市 | 43.0 歳 | 324,167 円 | 413,185 円 | 348,746 円 |
| 島 根 県 | 43.2 歳 | 325,409 円 | 399,222 円 | 352,983 円 |
| 国 | 43.4 歳 | 329,433 円 | — 円 | 411,123 円 |
| 類似団体 | 42.3 歳 | 316,015 円 | 376,662 円 | 342,586 円 |

② 技能労務職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|---------|--------|-----------|-----------|--------------------|
| 大 田 市 | 53.0 歳 | 322,483 円 | 341,316 円 | 331,233 円 |
| 内校務技能員 | 50.8 歳 | 320,025 円 | 339,025 円 | 329,400 円 |
| 内保育園調理員 | 57.4 歳 | 327,400 円 | 345,900 円 | 334,900 円 |
| 島 根 県 | — 歳 | — 円 | — 円 | — 円 |
| 国 | 50.9 歳 | 287,312 円 | — 円 | 329,380 円 |
| 類似団体 | 51.3 歳 | 316,215 円 | 345,372 円 | 329,038 円 |

③ 消防職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|-------|--------|-----------|-----------|--------------------|
| 大 田 市 | 36.5 歳 | 289,769 円 | 384,645 円 | 314,984 円 |
| 類似団体 | 37.1 歳 | 285,110 円 | 356,713 円 | 313,223 円 |

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成31年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
 また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（平成31年4月1日現在）

| 区 分 | | 大 田 市 | 島 根 県 | 国 |
|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 一 般 行 政 職 | 大 学 卒 | 170,100 円 | 181,711 円 | 180,700 円 |
| | 高 校 卒 | 148,600 円 | 149,432 円 | 148,600 円 |
| 技 能 労 務 職 | 高 校 卒 | 146,000 円 | — 円 | — 円 |
| 消 防 職 | 大 学 卒 | 170,100 円 | — 円 | — 円 |
| | 高 校 卒 | 148,600 円 | — 円 | — 円 |

(3) 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額の様況(平成31年4月1日現在)

| 区 分 | | 経験年数10年 | 経験年数20年 | 経験年数25年 | 経験年数30年 |
|-------|-----|-----------|---------|---------|---------|
| 一般行政職 | 大学卒 | *** 円 | *** 円 | *** 円 | — 円 |
| | 高校卒 | — 円 | — 円 | *** 円 | *** 円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | — 円 | — 円 | — 円 | — 円 |
| 消防職 | 大学卒 | 265,700 円 | — 円 | — 円 | — 円 |
| | 高校卒 | — 円 | — 円 | — 円 | — 円 |

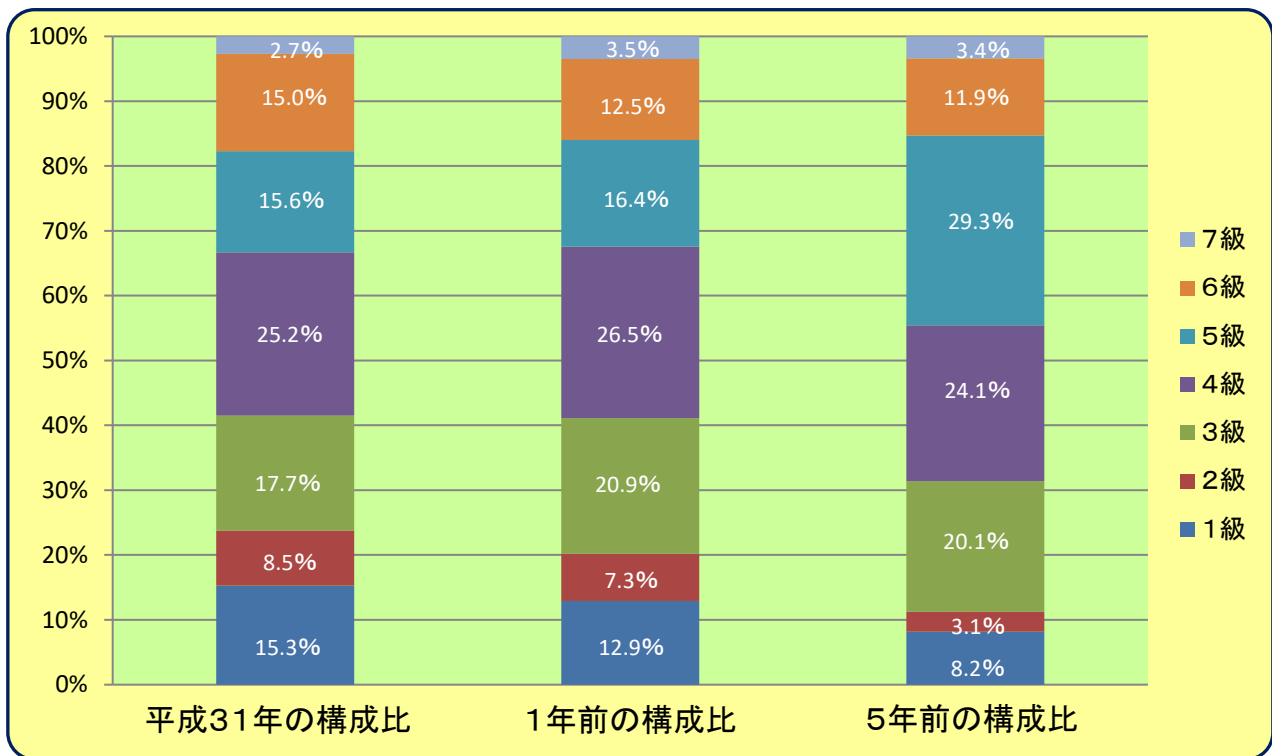
(注) 個人情報保護の観点から該当者が1人の場合は、アスタリスク「***」、該当者なしの場合は「—」としている。

3. 一般行政職の級別職員数等の状況

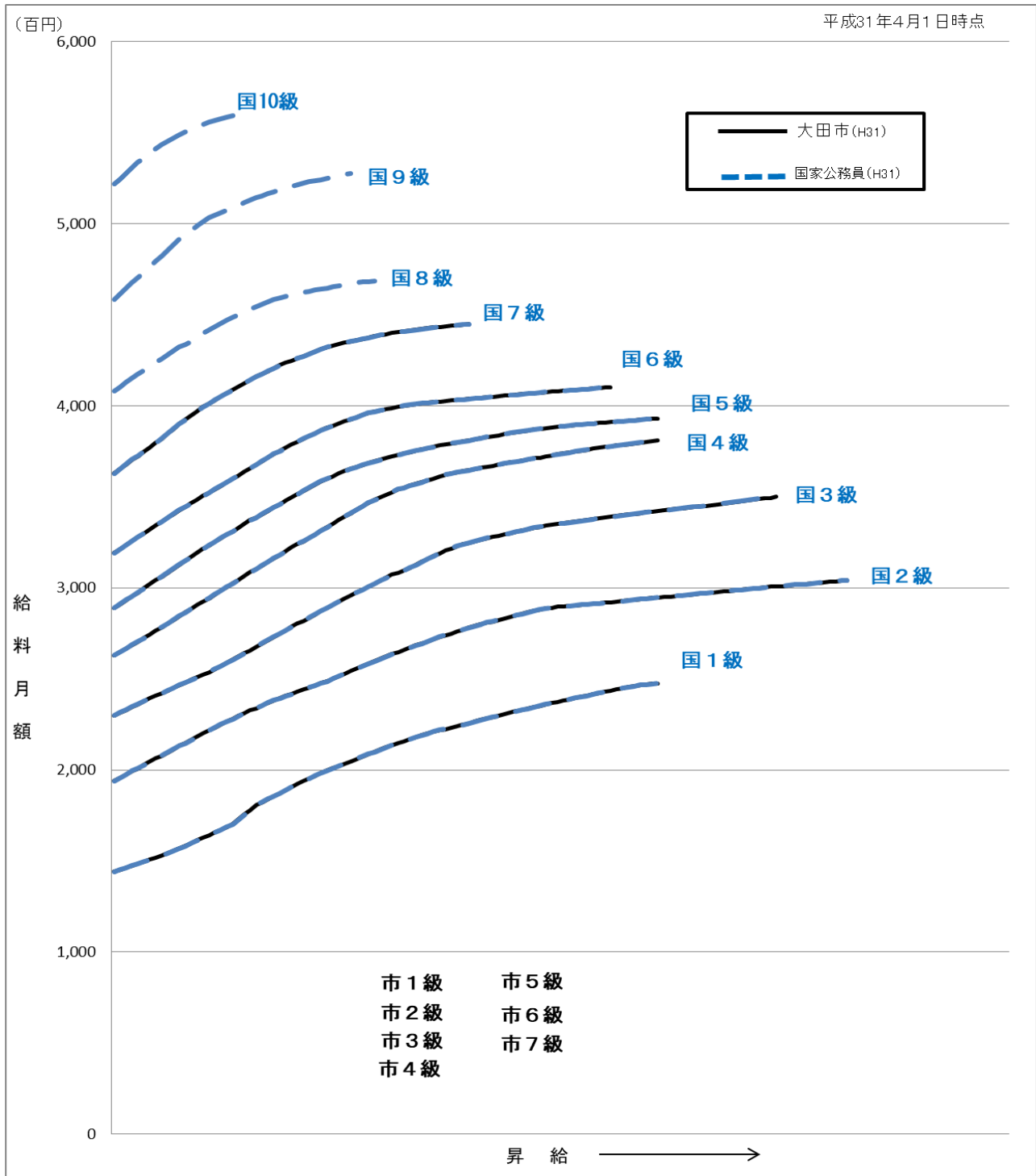
(1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成31年4月1日現在）

| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|--|-----|-------|----------|-----------|
| 1級 | 定型な業務を行う主事もしくは技師の職務またはこれらに相当する職務 | 45人 | 15.3% | 142,600円 | 247,100円 |
| 2級 | 高度な知識もしくは経験を必要とする業務を行う主事もしくは技師の職務またはこれらに相当する職務 | 25人 | 8.5% | 192,700円 | 303,800円 |
| 3級 | 主任主事もしくは主任技師の職務またはこれらに相当する職務 | 52人 | 17.7% | 228,900円 | 349,600円 |
| 4級 | 係長の職務またはこれに相当する職務 | 74人 | 25.2% | 262,000円 | 380,600円 |
| 5級 | 課長補佐の職務またはこれに相当する職務 | 46人 | 15.6% | 288,000円 | 392,600円 |
| 6級 | 課長の職務またはこれに相当する職務 | 44人 | 15.0% | 318,500円 | 409,800円 |
| 7級 | 部長の職務またはこれに相当する職務 | 8人 | 2.7% | 362,300円 | 444,500円 |

- (注) 1 大田市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（平成31年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況

| 平成31年4月2日から令和2年4月1日 までにおける運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|---------------------------------|-------------|---------------|-------------|---------------|
| イ. 人事評価を活用している | | | | |
| 活用している昇給区分 | 昇給可能な 区分 | 昇給実績が ある区分 | 昇給可能な 区分 | 昇給実績が ある区分 |
| 上位、標準、下位の区分 | | | | |
| 上位、標準の区分 | | | | |
| 標準、下位の区分 | | | | |
| 標準の区分のみ（一律） | | | | |
| ロ. 人事評価を活用していない | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 活用予定時期 | | | | |

4. 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 大 田 市 | 島 根 県 | 国 |
|---|--|--|
| 1人当たり平均支給額（30年度） 1,550 千円 | 1人当たり平均支給額（30年度） 1,469 千円 | — |
| (30年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.85月分 (1.45月分) (0.90月分) | (30年度支給割合) 期末手当 2.40月分 勤勉手当 1.70月分 (1.25月分) (0.90月分) | (30年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.85月分 (1.45月分) (0.90月分) |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～15% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～20% 管理職加算 15～25% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～20% 管理職加算 10～25% |

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）

| 令和元年度中における運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|-----------------|----------|------------|----------|------------|
| イ. 人事評価を活用している | | | | |
| 活用している成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 |
| 上位、標準、下位の成績率 | | | | |
| 上位、標準の成績率 | | | | |
| 標準、下位の成績率 | | | | |
| 標準の成績率のみ（一律） | / | | / | |
| ロ. 人事評価を活用していない | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 活用予定時期 | | | | |

(2) 退職手当（平成31年4月1日現在）

| 大 田 市 | 国 | |
|---|---|---|
| (支給率) 自己都合 勤続20年 19.6695月分 勤続25年 28.0395月分 勤続35年 39.7575月分 最高限度額 47.7090月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～20%加算） 1人当たり平均支給額 20,075千円 | 勸奨・定年 24.586875月分 33.27075月分 47.7090月分 47.7090月分 | (支給率) 自己都合 勤続20年 19.6695月分 勤続25年 28.0395月分 勤続35年 39.7575月分 最高限度額 47.7090月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～45%加算） |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成30年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当 (平成31年4月1日現在)

| | | | |
|-------------------------------|------------|---------|------------|
| 支給実績 (30年度決算) | 0 千円 | | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額 (30年度決算) | — 円 | | |
| 支給対象地域 | 支給率 | 支給対象職員数 | 国の制度 (支給率) |
| — | — | — | — |
| 地域手当補正後ラスパイレス指数 (ラスパイレス指数) | — (—) | | |

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率) / (1+国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)

(4) 特殊勤務手当 (平成31年4月1日現在)

| 支給実績 (30年度決算) | | | | 2,481 千円 |
|--------------------------|------------------------|------------------|---------------|--------------|
| 支給職員1人当たり平均支給年額 (30年度決算) | | | | 27,337 円 |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合 (30年度) | | | | 19.2 % |
| 手当の種類 (手当数) | | | | 9 |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 (30年度決算) | 左記職員に対する支給単価 |
| 感染症防疫作業手当 | 感染症防疫作業従事職員 | 感染症防疫に従事した場合 | — | 日額 300円 |
| 行旅死病人取扱業務手当 | 行旅死病人業務従事職員 | 行旅死亡人を取扱った場合 | — | 1件 3,000円 |
| | | 行旅病人を取扱った場合 | — | 1件 1,500円 |
| 市税・国民健康保険料・介護保険料徴収業務手当 | 市税・国民健康保険料・介護保険料徴収担当職員 | 徴収外勤業務 | 26千円 | 日額 200円 |
| | | 財産差押業務 | 5千円 | 1件 300円 |
| 生活保護業務手当 | 福祉事務所職員 | 生活保護法による保護業務 | 120千円 | 月額 2,000円 |
| 除雪作業業務 | 特殊作業車運転手 | 正規の勤務時間外の除雪業務 | — | 日額 300円 |
| | | 暴風雪警報・大雪警報発令下の作業 | — | 日額 150円 |
| 用地交渉業務手当 | 公共工事担当課職員 | 正規の勤務時間外の用地交渉業務 | — | 日額 200円 |
| 負担金・使用料等徴収事務手当 | 負担金・使用料等徴収担当 | 徴収外勤業務 | 5千円 | 日額 200円 |
| 消防業務手当 | 消防職員 | 救急出動業務 | 1,762千円 | 1件 300円 |
| | | 救命措置業務 | 18千円 | 1件 300円 |
| | | 火災出動業務・災害等出動業務 | 243千円 | 1件 300円 |
| 衛生処理場業務手当 | 衛生処理場職員 | 時間外緊急出動業務 | 2千円 | 日額 300円 |
| | | 危険物取扱業務 | — | 日額 200円 |
| | | し尿、ごみ処理業務 | 297千円 | 日額 200円 |

(5) 時間外勤務手当

| | |
|-----------------------|------------|
| 支給実績（平成30年度決算） | 208,146 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（30年度決算） | 652 千円 |
| 支給実績（平成29年度決算） | 148,403 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（29年度決算） | 359 千円 |

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（平成30年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当（平成31年4月1日現在）

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績（30年度決算） | 支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算） |
|--------|--|----------|-----------------------|--------------|-------------------------|
| 管理職手当 | 管理監督の地位にある職員に支給 部長級 月額 66,400円 課長級 月額 41,600円 | 一部異なる | 支給割合が異なる | 千円 31,229 | 円 576,532 |
| 扶養手当 | 扶養親族のある職員に支給 配偶者 6,500円 子 10,000円 父母等 6,500円 特定期間（満16歳年度初めから満22歳年度末）の子の加算 5,000円 | 同じ | — | 千円 65,158 | 円 265,501 |
| 住居手当 | 住宅を借りて月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給 借家・借間居住者 月額23,000円以下の家賃 家賃—12,000円 月額23,000円を超える家賃 (家賃—23,000円) × 1/2 + 11,000円 最高支給限度額 27,000円 | 同じ | — | 千円 25,066 | 円 297,518 |
| 通勤手当 | 通勤のため交通機関を使用又は交通用具を利用する場合に支給（ただし、通勤距離が2km未満の場合を除く） 交通機関利用者 最高支給限度額 55,000円 交通用具使用者 2km～40km以上 3,900円～23,900円 | 異なる | 交通用具使用者の距離区分が異なる | 千円 42,205 | 円 126,709 |
| 単身赴任手当 | 異動に伴い転居し、やむを得ない事情により配偶者と別居し、単身で生活する職員に支給 30,000円+配偶者の住居との間の交通距離に応じた加算額 加算額 6,000円～58,000円 | 同じ | — | 千円 0 | 円 — |
| 休日勤務手当 | 休日等（祝日法による休日、年末年始の休日）において、正規の勤務時間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×135/100 | 異なる | 勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる | 千円 23,060 | 円 368,693 |
| 夜間勤務手当 | 正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した職員に支給 夜間勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×25/100 | 異なる | 勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる | 千円 5,095 | 円 80,240 |

| | | | | | |
|----------------|---|----|---|-------------|--------------|
| 宿日直手当 | 宿日直を命ぜられた職員に支給（時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されない） 一般の宿日直 4,200円 | 同じ | — | 千円 26 | 円 11,314 |
| 管理職員 特別勤務手当 | 臨時又は緊急の必要その他公務の運営上の必要により、週休日、休日または平日の午前0時から午前5時までの間に勤務した管理職員に支給 1回につき4,000～6,000円 実働時間が6時間を超える場合 6,000円～9,000円 | 同じ | — | 千円 3,010 | 円 159,119 |

5. 特別職の報酬等の状況（平成31年4月1日現在）

| 区 分 | | 給 料 | 月 額 | 等 |
|------------------|-------|---------------|---|--------|
| 給 料 | 市 長 | 780,000 円 | (参考) 類似団体における 最高/最低額 950,000/259,000 | |
| | 副 市 長 | 660,000 円 | 772,000/483,000 | |
| | 教 育 長 | 550,000 円 | — | |
| 報 酬 | 議 長 | 390,000 円 | 545,000/230,000 | |
| | 副 議 長 | 330,000 円 | 474,000/200,000 | |
| | 議 員 | 310,000 円 | 442,000/180,000 | |
| 期 末 手 当 | 市 長 | (平成30年度支給割合) | | |
| | 副 市 長 | 3.25月分 | | |
| 退 職 手 当 | 議 長 | (平成30年度支給割合) | | |
| | 副 議 長 | 3.25月分 | | |
| | 議 員 | | | |
| 退 職 手 当 | 市 長 | (算定方式) | (1期の支給額) | (支給時期) |
| | 副 市 長 | 78万円×在職年数×4.5 | 14,040,000円 | 任期毎 |
| 退 職 手 当 | 市 長 | 66万円×在職年数×2.7 | 7,128,000円 | 任期毎 |
| | 副 市 長 | | | |

(注) 1 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年）努めた場合における退職手当の見込み額である。 ※在任期間に端数がある場合は月額支給する。

6. 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

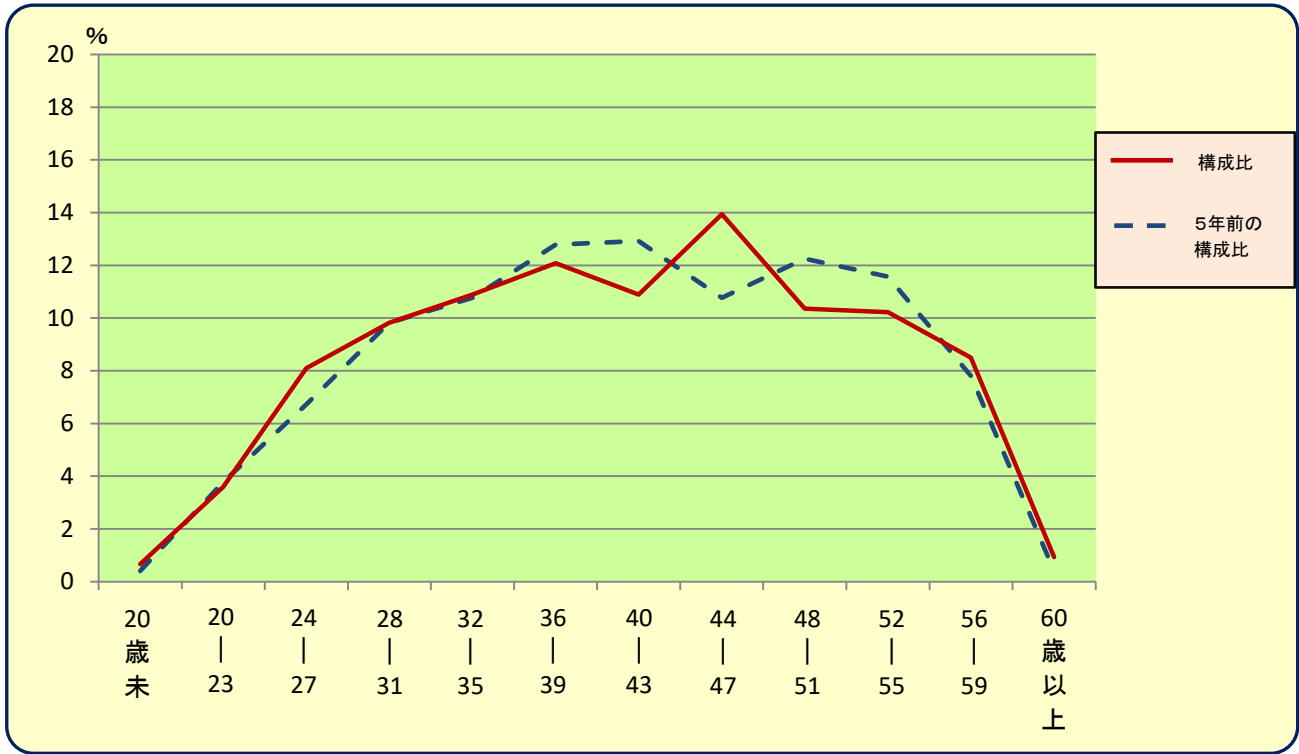
(各年4月1日現在)

| 部門 | 区分 | 職員数 | | 対前年 増減数 | 主な増減理由 | |
|---------------|--------|----------------|----------------|--------------|---|---|
| | | 平成31年 | 平成30年 | | | |
| 普通会計部門 | 一般行政部門 | 議会 | 3 | 5 | ▲ 2 | 議会事務局体制の見直し 公共施設適正化、多文化共生の促進に向けた体制強化 |
| | | 総務 | 90 | 86 | 4 | |
| | | 税務 | 20 | 20 | 0 | |
| | | 労働 | 1 | 1 | 0 | |
| | | 農林水産 | 30 | 27 | 3 | 全国植樹祭に向けた体制整備 観光振興の体制強化 |
| | | 商工 | 17 | 16 | 1 | |
| | | 土木 | 32 | 32 | 0 | |
| 民生 | | 73 | 80 | ▲ 7 | 保育所における欠員不補充 | |
| 衛生 | 38 | 38 | 0 | | | |
| | 計 | 304 | 305 | ▲ 1 | 〈参考〉 人口1万人当たり職員数 87.1人 (類似団体の人口1万人当り職員数 78.55人) | |
| | 教 育 | 45 | 45 | 0 | | |
| | 消 防 | 83 | 83 | 0 | | |
| | 小 計 | 432 | 433 | ▲ 1 | 〈参考〉 人口1万人当たり職員数 123.7人 (類似団体の人口1万人当り職員数 101.49人) | |
| 公営企業等 会計部門 | 病院 | 275 | 277 | ▲ 2 | 医師、看護師の減 | |
| | 水道 | 17 | 17 | 0 | | |
| | 下水道 | 8 | 8 | 0 | | |
| | その他 | 21 | 21 | 0 | | |
| | 小 計 | 321 | 323 | ▲ 2 | | |
| | 合 計 | 753 〔 923 〕 | 756 〔 923 〕 | ▲ 3 〔 0 〕 | 〈参考〉 人口1万人当たり職員数 215.7人 | |

(注) 1 職員数は一般職に属する職員である。

2 〔 〕内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成31年4月1日現在）



| 区分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 合計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 職員数 | 5人 | 27人 | 61人 | 74人 | 82人 | 91人 | 82人 | 105人 | 78人 | 77人 | 64人 | 7人 | 753人 |

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

| 部門別 \ 年度 | 26年 | 27年 | 28年 | 29年 | 30年 | 31年 | 過去5年間の増減数(率) |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| 一般行政 | 316 | 309 | 310 | 308 | 305 | 304 | ▲12 (▲3.8) |
| 教育 | 47 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | ▲2 (▲4.3) |
| 消防 | 83 | 84 | 83 | 82 | 83 | 83 | 0 (0.0) |
| 普通会計 | 446 | 438 | 438 | 435 | 433 | 432 | ▲14 (▲3.1) |
| 公営企業等会計 | 298 | 317 | 325 | 327 | 323 | 321 | 23 (7.7) |
| 総合計 | 744 | 755 | 763 | 762 | 756 | 753 | 9 (1.2) |

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数

7. 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

| 区 分 | 総費用 A 千円 | 純損益又は 実質収支 千円 | 職員給与費 B 千円 | 総費用に占める職員 給与費比率 B/A % | (参考) 前年度 の給与費比率 % |
|------|----------------|---------------------|------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 30年度 | 1,130,402 | 21,753 | 98,154 | 8.7 | 8.1 |

| 区 分 | 職員数 A 人 | 給 与 費 | | | | 1人当たり給 与費B/A 千円 | 1人当たり給与費 (市町村平均) 千円 |
|------|---------------|-----------|---------------|-------------------|-----------|-----------------------|---------------------------|
| | | 給 料 千円 | 職 員 手 当 千円 | 期 末 勤 勉 手 当 千円 | 計 B 千円 | | |
| 30年度 | 16 | 59,209 | 13,754 | 23,633 | 96,596 | 6,037 | 6,332 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、平成30年4月1日現在の人数である。

イ 特記事項

普通会計職員と同じ

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（平成31年4月1日現在）

| 区 分 | 平均年齢 歳 | 平均給料月額 円 | 平均給与月額 円 | 平均給与月額 (国ベース) 円 |
|------------------|-----------|-------------|-------------|-----------------------|
| 水 道 事 業 | 40.4 | 293,241 | 359,627 | 318,956 |
| (参考) 大田市一般行政職 | 43.0 | 324,167 | 413,185 | 348,746 |

③ 職員手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

| 水 道 事 業 | 大 田 市 |
|---|---|
| 1人当たり平均支給額（30年度） 1,477 千円 | 1人当たり平均支給額（30年度） 1,550 千円 |
| (30年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.85月分 (1.45月分) (0.90月分) | (30年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.85月分 (1.45月分) (0.90月分) |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15% |

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（平成31年4月1日現在）

| 水 道 事 業 | | | 大 田 市 | | |
|----------------------------------|-----------|-------------|----------------------------------|-----------|-------------|
| (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 | (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 |
| 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 | 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 |
| 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 | 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 |
| 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.7090月分 | 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.7090月分 |
| 最高限度額 | 47.7090月分 | 47.7090月分 | 最高限度額 | 47.7090月分 | 47.7090月分 |
| その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2~20%加算） | | | その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2~20%加算） | | |
| 1人当たり平均支給額 - | | | 1人当たり平均支給額 20,075千円 | | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成30年度に退職した職員に支給された平均額である。

(注) 個人情報保護の観点から該当者が1人の場合は、アスタリスク「***」、該当者なしの場合は「-」としている。

ウ 特殊勤務手当（平成31年4月1日現在）

| 支給実績（30年度決算） | 52 千円 | | | |
|-------------------------|----------|----------------|------------------|--------------|
| 支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算） | 3,058 円 | | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合（30年度） | 100.0% | | | |
| 手当の種類（手当数） | 2 | | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 （30年度決算） | 左記職員に対する支給単価 |
| 水道業務手当 | 水道職員 | 時間外に緊急出勤した場合 | 52千円 | 日額 300円 |
| | | 危険物（薬品）を取扱った場合 | 0千円 | 日額 200円 |
| 負担金・使用料等徴収事務手当 | 水道職員 | 徴収外勤業務 | 0千円 | 日額 200円 |

エ 時間外勤務手当

| | |
|-----------------------|----------|
| 支給実績（平成30年度決算） | 6,994 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（30年度決算） | 500 千円 |
| 支給実績（平成29年度決算） | 6,276 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（29年度決算） | 448 千円 |

オ その他の手当（平成31年4月1日現在）

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との差異 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 （30年度決算） | 支給職員1人当たり 平均支給年額 |
|--------|---|----------|------------------|------------------|---------------------|
| 管理職手当 | 管理監督の地位にある職員に支給 部長級 月額 66,400円 課長級 月額 41,600円 | 一部異なる | 支給割合が異なる | 千円 1,795 | 円 598,300 |
| 扶養手当 | 扶養親族のある職員に支給 配偶者 6,500円 子 10,000円 父母等 6,500円 特定期間（満16歳年度初めから満22歳年度末）の子の加算 5,000円 | 同じ | — | 千円 2,557 | 円 319,600 |
| 住居手当 | 住宅を借りて月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給 借家・借間居住者 月額23,000円以下の家賃 家賃—12,000円 月額23,000円を超える家賃 （家賃—23,000円）×1/2 +11,000円 最高支給限度額 27,000円 | 同じ | — | 千円 894 | 円 298,000 |
| 通勤手当 | 通勤のため交通機関を使用又は交通用具を利用する場合に支給（ただし、通勤距離が2 km未満の場合を除く） 交通機関利用者 最高支給限度額 55,000円 交通用具使用者 2km～40km以上 3,900円～23,900円 | 異なる | 交通用具使用者の距離区分が異なる | 千円 1,272 | 円 106,000 |
| 単身赴任手当 | 異動に伴い転居し、やむを得ない事情により配偶者と別居し、単身で生活する職員に支給 30,000円+配偶者の住居との間の交通距離に応じた加算額 加算額 6,000円～58,000円 | 同じ | — | 千円 0 | 円 — |

| | | | | | | | |
|------------|---|-----|-----------------------|-----|----|--------|---|
| 休日勤務手当 | 休日等（祝日法による休日、年末年始の休日）において、正規の勤務時間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×135/100 | 異なる | 勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる | 0 | 千円 | — | 円 |
| 夜間勤務手当 | 正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×25/100 | 異なる | 勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる | 0 | 千円 | — | 円 |
| 宿日直手当 | 宿日直を命ぜられた職員に支給（時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されない） 一般の宿日直 4,200円 | 同じ | — | 0 | 千円 | — | 円 |
| 管理職員特別勤務手当 | 臨時又は緊急の必要その他公務の運営上の必要により、週休日、休日または平日の午前0時から午前5時までの間に勤務した管理職員に支給 1回につき4,000～6,000円 実働時間が6時間を超える場合 6,000円～9,000円 | 同じ | — | 191 | 千円 | 63,600 | 円 |

(2) 病院事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

| 区分 | 総費用 A | 純損益又は 実質収支 | 職員給与費 B | 総費用に占める職員 給与費比率 B/A | (参考) 前年度 の給与費比率 |
|------|-----------|---------------|------------|------------------------|--------------------|
| | 千円 | 千円 | 千円 | % | % |
| 30年度 | 4,570,389 | ▲ 172,733 | 2,810,805 | 61.5 | 62.1 |

| 区分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | 1人当たり給 与費B/A |
|------|----------|---------|---------|---------|-----------|-----------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末勤勉手当 | 計 B | |
| | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 30年度 | 281 | 979,772 | 614,679 | 399,622 | 1,994,073 | 7,096 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、平成30年4月1日現在の人数である。

イ 特記事項

普通会計職員と同じ

※ 医療職給料表適用者は、給与の特例(減額)から除外

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(平成31年4月1日現在)

| 職 種 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国ベース) |
|------|------|---------|-----------|------------------|
| | 歳 | 円 | 円 | 円 |
| 医 師 | 49.1 | 477,597 | 1,230,521 | 896,105 |
| 国 | 52.0 | 504,551 | — | 849,045 |
| 類似団体 | 49.3 | 550,583 | 1,267,042 | 747,776 |

| 職 種 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国ベース) |
|-------|------|---------|---------|------------------|
| | 歳 | 円 | 円 | 円 |
| 看 護 師 | 38.9 | 282,668 | 358,130 | 300,064 |
| 国 | 47.1 | 315,908 | — | 352,289 |
| 類似団体 | 42.4 | 304,836 | 356,585 | 318,898 |

③ 職員手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

| 病 院 事 業 | 大 田 市 |
|---|---|
| 1人当たり平均支給額(30年度) 千円 | 1人当たり平均支給額(30年度) 1,550 千円 |
| (30年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.85月分 (1.45月分) (0.90月分) | (30年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.85月分 (1.45月分) (0.90月分) |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15% |

- (注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（平成31年4月1日現在）

| 病 院 事 業 | | | 大 田 市 | | |
|----------------------------------|-----------|-------------|----------------------------------|-----------|-------------|
| (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 | (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 |
| 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 | 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 |
| 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 | 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 |
| 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.7090月分 | 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.7090月分 |
| 最高限度額 | 47.7090月分 | 47.7090月分 | 最高限度額 | 47.7090月分 | 47.7090月分 |
| その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～20%加算） | | | その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～20%加算） | | |
| 1人当たり平均支給額 4,297千円 | | | 1人当たり平均支給額 20,075千円 | | |

（注） 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成30年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（平成31年4月1日現在）

| | | |
|-------------------------|-----|------------------|
| 支給実績（30年度決算） | | 22,787千円 |
| 支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算） | | 1,265,949円 |
| 支給対象者 | 支給率 | 支給対象職員数 |
| 医師 | 16% | 19 |
| | | 国の制度（支給率） 16% |

エ 特殊勤務手当（平成31年4月1日現在）

| 支給実績（30年度決算） | | 114,978千円 | | |
|-------------------------|----------|-------------|------------------|--|
| 支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算） | | 497,740円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合（30年度） | | 82.2% | | |
| 手当の種類（手当数） | | 9 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 （30年度決算） | 左記職員に対する支給単価 |
| 負担金・使用料等徴収事務 手当 | 病院職員 | 徴収外勤業務 | 1千円 | 日額 200円 |
| 診療業務手当 | 病院職員 | 診療業務 | 21,095千円 | 定額分 35,000円～75,000円 診療分 上限 160,000円 |
| 救急業務手当 | 病院職員 | 宿日直時の外来救急業務 | 2,990千円 | 患者1人につき1,000円 宿日直1回につき2,000円 |
| 入院受入業務手当 | 病院職員 | 入院受入業務 | 3,015千円 | 患者1人につき 5,000円 |
| 救急呼出待機業務手当 | 病院職員 | 救急呼出待機業務 | 12,337千円 | 待機1回につき 2,000円～5,000円 |
| 分娩業務手当 | 病院職員 | 分娩業務 | 7,500千円 | 分娩1回につき 30,000円 |
| 放射線取扱業務 | 病院職員 | 診療放射線業務 | 358千円 | 日額 230円 |
| 夜間看護業務 | 病院職員 | 深夜における看護業務 | 47,382千円 | 1回 2,000円～8,800円 |
| 臨床指導業務 | 病院職員 | 臨床指導業務 | 20,300千円 | 月額 100,000円 |

オ 時間外勤務手当

| | |
|-----------------------|----------|
| 支給実績（平成30年度決算） | 49,772千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（30年度決算） | 204千円 |
| 支給実績（平成29年度決算） | 46,232千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（29年度決算） | 190千円 |

カ その他の手当（平成31年4月1日現在）

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との差異 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (30年度決算) | 支給職員1人当り 平均支給年額 |
|------------|---|----------|-----------------------|------------------|--------------------|
| 管理職手当 | 管理監督の地位にある職員に支給 月額 39,500円～137,700円 | 一部異なる | 支給割合が異なる | 千円 25,606 | 円 673,863 |
| 初任給調整手当 | 欠員の補充が困難な医師、薬剤師に支給 月額 5,000～368,800円 | 異なる | 薬剤師に対し支給している | 千円 62,110 | 円 2,957,625 |
| 扶養手当 | 扶養親族のある職員に支給 配偶者 6,500円 子 10,000円 父母等 6,500円 特定期間（満16歳年度初めから満22歳年度末）の子の加算 5,000円 | 同じ | — | 千円 35,735 | 円 262,762 |
| 住居手当 | 住宅を借りて月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給 借家・借間居住者 月額23,000円以下の家賃 家賃－12,000円 月額23,000円を超える家賃 (家賃－23,000円) × 1/2 +11,000円 最高支給限度額 27,000円 | 同じ | — | 千円 13,333 | 円 289,861 |
| 通勤手当 | 通勤のため交通機関を使用又は交通用具を利用する場合に支給（ただし、通勤距離が2 km未満の場合を除く） 交通機関利用者 最高支給限度額 55,000円 交通用具使用者 2km～40km以上 3,900円～23,900円 | 異なる | 交通用具使用者の距離区分が異なる | 千円 25,451 | 円 119,489 |
| 単身赴任手当 | 異動に伴い転居し、やむを得ない事情により配偶者と別居し、単身で生活する職員に支給 30,000円+配偶者の住居との間の交通距離に応じた加算額 加算額 6,000円～58,000円 | 同じ | — | 千円 0 | 円 0 |
| 休日勤務手当 | 休日等（祝日法による休日、年末年始の休日）において、正規の勤務時間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×135/100 | 異なる | 勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる | 千円 15,762 | 円 86,609 |
| 夜間勤務手当 | 正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×25/100 | 異なる | 勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる | 千円 16,436 | 円 110,314 |
| 宿日直手当 | 宿日直を命ぜられた職員に支給（時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されない） 4,400円～30,000円 | 同じ | — | 千円 28,480 | 円 390,149 |
| 管理職員特別勤務手当 | 臨時又は緊急の必要その他公務の運営上の必要により、週休日、休日または平日の午前0時から午前5時までの間に勤務した管理職員に支給 1回につき2,000～12,000円 実働時間が6時間を超える場合 6,000円～18,000円 | 同じ | — | 千円 566 | 円 14,894 |